

希望のうた



第1 - 10号 平成30年 7月10日 佐世保市立日野小学校

こんな子どもに ☆ゆめをもち、なかまを大切に、元気いっぱい！

「100点あいさつ」って何だろう

日野小にあるめあての一つに、「100点あいさつ」があります。4月に着任したときも、6年生の代表児童が日野小の子どもたちの自慢として、話してくれました。あいさつは、心を開く鍵であり、相手を大切に思う気持ちの表れです。日野小のあいさつには、三つの約束があります。このことが守れて、100点になるのでしょうか。

- ① 自分から
- ② 相手の顔を見て
- ③ 大きな声で



今の日野小の子どもたちのあいさつはどうでしょう。

子どもたちに考えてほしいと思い、全校朝会でロールプレイングで「100点あいさつ」「？？と思うあいさつ」を先生とやってみました。6年生の代表3人にどう思うか感想を話してもらいました。やはり、いいあいさつをしてもらうと「気持ちがいい」「うれしい」「すっきりする」と話してくれました。

あいさつには、やはり心を開く「力」があるのです。全校で「100点あいさつ」ができるように取り組んでいきたいと思います。もちろん、校内だけでなく、校外や家庭でも実践できたらいいと思っています。子どもたちへ応援の意味でも声かけをお願いします。

○日野地区の歴史（1）

ここに一冊の本（写真：「日野小学校は昔海だった」）があります。この本は、「地名の起源」に始まる「日野の郷土史」です。編集の関わった中に、当時の日野小学校郷土研究クラブの子どもたちの名前がたくさん記載されています。この本が刊行された当時（平成2年）、手にしたことはありましたが、今回じっくりと読んでみると、日野をふるさととし、こよなく日野を愛し、ふるさとの一層の反映



を希求する愛情が込められた郷土史集だと感銘を受けました。

ご存じの方もたくさんいらっしゃると思いますが、時代も移りゆく中、時折、この本から抜粋させていただきながら、日野の歴史についてお知らせしていこうと思います。

日野小学校は昔海だった

日野小学校の近くの岩や旧実業高等学校裏の岩、緑町、椎木町の岩も波で岩がけずられたような形をしていて、海岸の岩によく似ています。しかし、日野小学校が昔海だったことの証明にどうしても海生貝の化石を見つけたかったところ、
……（中略）……夏休み、上の運動場（今の体育館）のブランコの下から太古の海生二枚貝の化石を見つけました。その時はもうみんな「ヤッター！」と大喜びで6年生から1年生まで全員夢中で化石を探しました。

「日野小学校は昔海だった」50ページより抜粋 一部付け加え

日野に人が住み着くずっと以前の太古の昔に生息していた海生貝と対面したときの当時の子どもたちの感動が分かりますね。調査活動というのは、きついときもありますが、発見した瞬間、これまでの苦労が報われるかのように大きな達成感を味わえるものです。

当たり前にも暮らしているこの土地が、実は昔、海だったなんて不思議な気持ちです。校舎も新しくなろうとする今、学校やその周辺の歴史を知っておくのは意味があることだと感じています。

○冠水の対応について



先週末は、歴史的豪雨となり、各地に大きな被害をもたらしました。日野小周辺も冠水し、集団下校を行いました。地域の皆様には地区の情報をいただいたり、子どもたちを誘導していただいたりと助けていただきました。学校に駆けつけてくださった保護者の方もいらっしゃって、「この地区の下校も引率します」と動いてくださり、心強かったです。

ライブ情報が当たり前のように流れている現代、下校の状況に関しては、学校からの情報もライブ発信とは行かないまでも、もう少し細やかな情報提供ができなかったかと考えております。また、地区と集団下校における地区（同じ地区でもエリアによって、分けられていました）の把握を保護者と共有しておくこと等、校内でも改善をはかっていきたいと思っております。電話回線もパンク状態でしたので、つながらなかったお電話もあったかと思っております。600人近い児童の下校のパターンも大変多く、児童の動きを把握することも課題でした。まだまだ、課題はたくさんありますが、以上のことは、PTA会長さんを始めとした保護者の皆様と話し合っていかなければならないことでもあると考えています。

日野地区のハザードマップをにらみながら、日野小校区の難しさを改めて実感していますが、ご家庭におかれましても、ハザードマップ（市から配布されています）を今一度ご確認いただき、災害時の避難について話題にされてください。